

## ❖ LCC News Letter 25

同志社校友会大阪支部産官学部会LCC

19 March 2012 (作成：北出 至)

LCC七周年記念講演会の「演題」が決まる

### 「八重の桜、裏の梅」

昨年、LCC六周年記念の基調講演として、ビジネス研究科の村山裕三教授が、「経済安全保障から考える東日本大震災」を、また、株式会社リンカイの李容淑さんが、「さくらとキムチ」について話されました。

そして、今年も同志社大学ホーム・カミングデー当日平成24年11月11日(日)10時30分より、「LCCの七周年記念講演会」を寒梅館で行う準備をしています。

ご承知のように、来年のNHK大河ドラマは、新島裏の妻、新島八重の生涯を描きます。主演は、綾瀬はるか、ドラマのタイトルは「八重の桜」と既に決定しています。

LCC七周年記念講演の11月11日(日)といえば、新春の大河ドラマ放映をあと50日に控え、その話題が全国に徐々に燃え上がりつつある頃と推察します。実にタイムリーな内容のある記念講演会となるでしょう！



戊辰戦争の時、八重が銃を持ち立て籠った会津・鶴ヶ城

### 「LCC新島塾」

前執行部の遺産である「LCC新島塾」は、大切に継承せねばなりません。

昨年は新渡戸稲造、安倍磯雄(紙上)、本年に入ってフローレンス・デントン女史と日銀総裁深井英五につき、いずれも、LCCの会員である藤原正巳氏が定例会で話されました。

一方、同志社大学神学部本井康博教授には毎年期末(3月)にご講演をお願いし、昨年は「大阪と同志社」に関して拝聴しました。

今年は、前述のように「八重の桜」の放映に関連して来年の正月に一番近い機会、11月11日のLCC七周年記念講演会に照準を合わせ、早々にお願いした次第です。同志社の歴史、新島裏研究の第一人者の本井教授は、NHKドラマ放映が近づくと、間違いなくご多忙になり、教授との約束は困難になると予想し、早目をお願いしたところ幸いにもご快諾を得たのです。

「八重の桜」と新島裏の有名な「寒梅の詩」の競演、見事な“演題”を本井教授が選定して下さいました。今から、非常に楽しみです。